

みんなの

ちょこっと相談

子どもが産まれるのが楽しみです。

でも上司や同僚からは育児休業を取ることを理解してもらえない気がします。

あなたが、職場であきらめないこと

せっかく、楽しみにしているのに理解されないのは残念ですね。2017年度の調査(厚生労働省)では、男性の育児取得率は5.14%です。少数派ですよ。言い出しにくい気持ちはわかります。

でもあえて提案ですが、職場で「子どもが生まれる。子育てが楽しみ」だと繰り返して、雰囲気を作っておいて「育児休業を取りたい」と言ってみませんか。後に続く人につながると思うのです。しかも、あなたが育児のために休暇を取りやすくなると思います。

育児休業制度について

条件を満たせば、夫婦ともに育児休業を取得できるよう法律で定められています。勤務先の就業規則に規定がなくても、申し出によって取得できます。制度の詳細は、労働局雇用環境・均等部に問合せることができます。

●男性相談員から

子育ては貴重な体験

子育ては大変です。子どもが泣き止まなかったり、いたずらで、凄く腹が立ったこともありました。今思えばその苦労があって、自分なりに乗り越える過程で、子どもともよく話し合う関係になれたと思っています。そして、子どもは子どもの人生を生きていきます。

妻の出産予定は3ヶ月後です。妻は産休・育休を取る予定です。自分も地域の子育て教室で赤ちゃんのお世話を学び、産まれるのを楽しみにしています。共働きで家事も分担してきたので、育児も分担していきたいと思います。でも職場は残業も多く、早く帰りにくいし、育児休業なんて言い出しにくい。妻は私が育児休業を取ることを半分あきらめているようです。



また、制度のことだけではなく、勤務先の人たちとよく話し合って、理解を深めていくことをめざしましょう。それだけでも大きな一歩になります。

一人で悩まず、夫婦で話し合う

これからは、育児を男性が取得して当然の社会になると思います。以前、男性は保育園の送迎をほとんどしていませんでしたが、今では、たくさんの男性がしています。スーツにベビーカーで何の違和感もありません。男性の保育士も増えてきました。

しかし依然として「育児は女性がするもの」という社会の圧力が、女性に重くのしかかっています。だからこそ大切なことは、夫婦でどういうふうにも子どもと接し、どんな子育てをしていくのか、繰り返し話し合うことだと思います。育児をとらない場合でも、育児を分担するというあなたの思いを実現するため、二人が納得できるやり方を作り出してください。回答者:「男性のための電話相談」相談員

●男性のための電話相談

専用電話： 第2火曜 18:00~20:00
06-6844-9111 第4土曜 13:00~17:00

仕事のこと、夫婦のこと、家族のこと、職場のことなど男性相談員に電話で相談できます。(無料)

<テーマ相談も受付>

11月は、「男性の孤独と不安」